第5回　高知家子どもの虐待防止推進セミナー

趣旨

　児童虐待は、特別な家庭にだけ発生するものではなく、すべての子育て家庭で起こり得る可能性があり、また、子どもの心身に大きな影響を及ぼすことから、その予防・早期発見・早期対応を確実に行っていくことが重要です。
　その実現のためには、地域の関係者が互いに連携をとり、子どもの安全を保障していく取り組みを進めていく必要があります。
　支援者一人一人が児童虐待問題に対する理解を深め、主体的な関わりを持てるよう、「高知家子どもの虐待防止推進セミナー」を開催します。

日時・会場

令和４年8月3日（水）13:30～16:00（13:00開場・受付）
高知県立ふくし交流プラザ　２階　多目的ホール

プログラム（予定）

■ 開会（13:30）

開会挨拶　森　克仁（高知県中央児童相談所長）

■ 講演（13:35～15:00）

演　題　「市町村に期待されている役割とは何か？」

講　師　伊藤　徳馬 氏（神奈川県茅ヶ崎市福祉部福祉政策課 課長補佐）

＜講師略歴＞
民間企業を経て、2004年に茅ヶ崎市役所に入庁。
2007年から子育て相談・児童虐待担当になり、2010年に子どもへの対応方法を練習する講座を事業化。
その頃から「市町村の児童虐待対応と予防、要対協運営、簡易なペアレンティングの講座展開」等の題で講座・研修を実施。
現在は福祉の総合相談や計画を担当する部署に所属。

著書　「子どもも自分もラクになる『どならない練習』」

■ グループによる情報交換（15:00～15:55）

・グループでの情報交換内容発表
・講評（伊藤徳馬氏）

■ 閉会（16:00）

閉会挨拶　：掛水　隆司（高知県幡多児童相談所長）

申込み

「参加申込書」によりメールでお申込みください。

Mail：060403@ken.pref.kochi.lg.jp　　締切：令和４年７月１５日（金）

注）駐車場に限りがあります。車でお越しの際は乗り合わせてご来場いただきますようご協力をお願いいたします。

主催：高知県